

年間授業計画

上水 高等学校 令和8年度（1年次用） 教科 芸術 科目 音楽 I

教科 芸術

科目 音楽 I

単位数 2 単位

対象学年組 第 1 年次 A 組～ F 組

使用教科書 (MOUSA1)

教科 芸術

の目標 芸術の幅広い活動を通して、各科目における見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の芸術や芸術文化と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

【知識及び技能】 芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

科目 音楽 I

の目標 音楽の幅広い活動を通して音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と幅広く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。	自己のイメージをもって音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴くことができるようにする。	主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
		歌	器	創						
A 歌唱（校歌） 【知識及び技能】 創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、曲にふさわしい発声、身体の使い方などの技能を身に付け、歌唱で表す。 【思考力、判断力、表現力等】 旋律、強弱、構成を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように歌うかについて表現意図をもつ。 【学びに向かう力、人間性等】 曲想や歌詞の内容に関心をもち、主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組む。	(・ガイダンス「身の回りの音と自然倍音」) ・「校歌」 ・発声練習と歌唱における身体の使い方 ・実技テスト 題材内で使用する教材 楽譜、ワークシート	○			A 歌唱（校歌） 【知識・技能】 創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、曲にふさわしい発声、身体の使い方などの技能を身に付け、歌唱で表している。 【思考・判断・表現】 旋律、強弱、構成を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように歌うかについて表現意図をもっている。 【主体的に学習に取り組む態度】 曲想や歌詞の内容に関心をもち、主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。	○	○	○	9	
B 器楽及び創作（ミュージックベルを使用した合奏と変奏） 【知識及び技能】 音を連ねたり重ねたりしたときの響き及び構成上の特徴について、表したいイメージと関わらせて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 音色やテクスチャを知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように演奏するかについて表現意図をもつ。 【学びに向かう力、人間性等】 他者との調和を意識して演奏したり、音楽を形づくっている要素の働きを変化させ変奏や編曲をしたりする活動に関心をもち、主体的・協働的に器楽・創作の学習活動に取り組む。	・「Happy Birthday to You」 ・リズムや拍子、演奏スタイルの変化を伴う創作 題材内で使用する教材 教科書、ミュージックベル、ワークシート		○	○	B 器楽及び創作（ミュージックベルを使用した合奏と変奏） 【知識・技能】 音を連ねたり重ねたりしたときの響き及び構成上の特徴について、表したいイメージと関わらせて理解している。 【思考・判断・表現】 音色やテクスチャを知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように演奏するかについて表現意図をもっている。 【主体的に学習に取り組む態度】 他者との調和を意識して演奏したり、音楽を形づくっている要素の働きを変化させ変奏や編曲をしたりする活動に関心をもち、主体的・協働的に器楽・創作の学習活動に取り組もうとしている。	○	○	○	9	
C 音楽史と鑑賞 【知識及び技能】 曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わりについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 バロック時代の音楽に特徴的な楽器の音色や旋律を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、自分や社会にとっての音楽の意味や価値について考え、音楽のよさや美しさを自ら味わって聴く。 【学びに向かう力、人間性等】 音楽家の生涯やその作品の特徴に関心をもち、主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組む。	・バロック、古典派の音楽に関する学習と作品鑑賞 ・バッハ、モーツァルトの生涯とその音楽の特徴 ・映画『アマデウス』に見る音楽家の生涯 ・ワークシートの提出 題材内で使用する教材 教科書、副教材、鑑賞教材			○	C 音楽史と鑑賞 【知識・技能】 曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わりについて理解している。 【思考・判断・表現】 バロック時代の音楽に特徴的な楽器の音色や旋律を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、自分や社会にとっての音楽の意味や価値について考え、音楽のよさや美しさを自ら味わって聴いている。 【主体的に学習に取り組む態度】 音楽家の生涯やその作品の特徴に関心をもち、主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	○	○	○	10	

一
学
期

